

仕様書

イノベーション戦略センター

1. 件名

2025 年度 日系企業のモノの国際競争ポジションに関する情報収集

2. 目的

NEDO イノベーション戦略センター（以下、「TSC」という）では、今後のイノベーション戦略の策定に向けたテーマ抽出のため、エネルギー・環境分野及び産業技術分野においてイノベーションを起こすべき領域を特定する **Innovation Outlook** の策定に取り組んでいる。その際、エネルギー・環境分野及び産業技術分野を取り巻く政策・市場・技術に関する情報を俯瞰的に収集し、これをバックキャスト型アプローチとフォアキャスト型アプローチで分析することにより、研究開発プロジェクトによる解決が必要な課題を選定してイノベーション戦略を策定することとしている。

本調査では、市場に関する情報収集の一環として、産業競争力の源泉であるモノ、すなわち、代表的な最終製品及びそれらを構成する部素材製品について、世界市場規模と企業国籍区分別の世界シェアに関する情報を収集する。また、モノにおける日系企業の国際競争ポジションを明らかにするために、市場規模や世界シェアの年推移等を整理する。

3. 内容

上記目的を達成するため、以下の項目について情報を収集・整理する。なお、情報収集・整理の対象製品の選定等にあたっては、NEDO 成果報告書「2023 年度 日系企業のモノと IT サービス、ソフトウェアの国際競争ポジションに関する情報収集」を参考にし、実施に当たっては NEDO と協議の上で決定することとする。

3-1 モノの世界市場規模等に関する情報収集

代表的な川下製品（最終製品）、及び、それらを構成する川中製品（中間製品）・川上製品（部素材等）について、直近 5 か年（2020 年から 2024 年）単年毎の世界市場規模実績及び企業国籍区分別の世界シェア実績の情報を収集する。なお、収集したデータは、製品別に、世界市場規模及び企業国籍区分別の世界シェアの年推移を個別データシートとして示す。

情報収集の対象は、NEDO 成果報告書「2023 年度 日系企業のモノと IT サービス、ソフトウェアの国際競争ポジションに関する情報収集」（1）の P.3～19 に示す製品を基準とし、世界市場における売上高が一定規模に達している製品を主体にすることが望ましい。

代表的な川下製品の区分は以下を想定している。ただし、これに限るものではなく、経済産業省の経済構造実態調査や工業統計調査などの調査分類等を参照するのも良い。

- 自動車
- 民間航空機
- 産業機械
- 産業用車両

- 家電製品
- 携帯電話
- OA 機器
- 通信ネットワーク機器
- エネルギー供給施設／プラント
- 医療機器
- 医薬品
- 検査・分析機器等
- 住宅関連
- ロボット

世界市場規模は日本円に換算し、換算時に使用した為替レートを明記する。金額ベースの推計が困難な場合は、数量ベースに置き換える。世界市場規模の把握が困難な製品においても、国内市場規模を推計することが望ましい。また、製品名は日本語と英語を併記する。

企業国籍の区分としては、日系企業、米国系企業、欧州系企業、中国系企業、台湾系企業、韓国系企業、その他外国資本企業（日本、米国、欧州、中国、台湾、韓国を除く外国資本企業）とする。複数国の資本からなる合併企業における日系企業、外国資本企業の定義としては、出資比率が 50%を超す企業の国籍／地域に準ずる（50%超の出資比率が国籍を超えて変化した場合は注釈を行う）。いずれの企業も出資比率が 50%に満たない場合は、出資比率が最大の企業の国籍／地域に準ずることとし、その場合は注釈を付ける。

3-2 収集データの整理

（1）全体を俯瞰した日系企業の国際競争ポジション整理

情報収集を行った製品について、企業国籍区分別に、直近（2024 年）の世界市場規模、売上高、世界シェアをバブルチャートにて示す。

さらに、主要な製品について、市場規模別及び企業国籍区分別に、直近 5 か年（2020 年から 2024 年）の世界市場規模、売上高、世界シェアの年推移をバブルチャートにて示す。対象は、NEDO 成果報告書「2023 年度 日系企業のモノと IT サービス、ソフトウェアの国際競争ポジションに関する情報収集」（1）の P.33～50 に示す製品を基準とし、NEDO と協議の上で決定することとする。

いずれのバブルチャートにおいても、縦軸に世界市場規模、横軸に世界シェア、バブルのサイズに売上高をとり、製品分類別にバブルの色を変えることが望ましい。

（2）川下製品、川中製品、川上製品別の日系企業の国際競争ポジション整理

いくつかの製品分類において、川下製品、川中製品、川上製品に区分けして、日系企業の国際競争ポジションを整理する。整理対象の製品分類は、NEDO 成果報告書「2023 年度 日系企業のモノと IT サービス、ソフトウェアの国際競争ポジションに関する情報収集」（1）の P.73～130 に示す製品分類を基準とし、NEDO と協議のうえで決定することとする。

データの提示においては、円グラフや連関図等を作成するなどして、視覚的に把握しやすいように工夫することが望ましい。

(3) 注目市場の動向整理

情報収集を行った製品について、世界市場規模の成長率や日系企業の世界シェアの変化率の上位 50 品目、下位 50 品目を抽出する。さらに、直近（2024 年）の世界市場規模の大きい製品上位 100 品目を抽出する。

上記で抽出した製品リスト等を作成し、注目すべき製品や市場の動向を整理する。

(4) 製品別の日系企業の国際競争ポジションの整理

いくつかの製品に注目し、2020 年と 2024 年の世界市場規模及び企業国籍別のシェアのグラフ等を作成し、その製品市場における日系企業の国際競争ポジションを整理する。整理対象の製品は、NEDO 成果報告書「2023 年度 日系企業のモノと IT サービス、ソフトウェアの国際競争ポジションに関する情報収集」（1）の P.172～202 に示す分野の製品を基準とし、NEDO と協議の上で決定することとする。

4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2026 年 3 月 31 日まで

5. 予算額

2,000 万円以内

6. 報告書

提出期限：2026 年 3 月 31 日

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

※報告書の仕様については、別途指示することがある。

※調査報告書においては、データの出典を明らかにするとともに、データの算出方法や推計方法についても明らかにすること。また、インタビュー調査等の記録についても併せて報告すること。

7. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

8. その他

本仕様書に定めなき事項については、NEDO と実施者が協議の上で決定するものとする。

以上